

## 平成20年度決算審査特別委員会（総務財政分科会） 西てつし発言分

◆西 委員 民主党・市民連合の西でございます。通告に基づきまして質問をさせていただきます。

まず、堺の税収構造についてお尋ねをいたします。平成20年度の市税決算において、ほかの政令指定都市と比較した場合、本市の個人市民税・法人市民税・固定資産税の構成比はどのような状況にあるか、お示してください。

◎河村 税政課長 平成20年度の個人市民税・法人市民税・固定資産税の政令市との比較でございますけれども、個人市民税につきましては本市の構成比は34.34%です。政令市平均の構成比は34.06%になってございまして、0.28ポイント上回っております。次に固定資産税でございますけれども、本市の構成比は40.05%で、政令市平均の構成比38.47%を1.58ポイント上回っております。一方、法人市民税ですけれども、本市の構成比は9.91%で政令市平均の構成比12.70%を2.79ポイント下回っております。以上でございます。

◆西 委員 法人市民税が政令市平均の12.70%より2.79%低いということなんですが、少し解釈に悩むんですけれども、他市に比べて相対的に人口変動による影響が大きいということでしょうか。

◎河村 税政課長 一概に人口変動に直接に影響するかというふうなことは明確には難しい部分もございますが、ただ、その構成比が、やはり法人市民税が小さい、逆に言うと個人市民税のウエイトがその分高くなりますので、一般的に考えると若干影響額が大きくなる可能性はあるものと考えられます。以上でございます。

◆西 委員 人口変動が堺市の財政に、一般的にとはいうものの相対的に影響が大きいということは少し気になっています。そういった意味では、大綱質疑で申し上げましたけれども、人口の将来予測を厳密に算出していただいて管理をしていただく、もしくは財政収支見込みに反映をしていただくということが非常に重要だと考えますので、よろしくお願いを申し上げます。

さらに、収入も債務残高も人口1人当たりの管理が、そういった意味では他市に比べて相対的に重要と言わざるを得ない部分もあると思います。政令市平均で1人当たりの債務残高が小さくても、1人当たりの収入が低ければ将来の財政の不安もぬぐえないと思います。

まずはお聞きをいたしますが、人口1人当たりの市税額は、ほかの政令市と比較してど

のような状況でしょうか。

◎河村 税政課長 平成20年度の決算額で見た場合ですけれども、本市の人口1人当たりの市税額は15万8,518円となっております。政令市平均で見ますと18万8,054円となっております。政令市平均と比べまして、1人当たり2万9,536円下回っているという状況でございます。以上です。

◆西 委員 政令市平均を下回っているということですが、もともとお聞きをしていたお話によれば18政令指定都市中16番目ということだったんですが、それでよろしいでしょうか。

◎河村 税政課長 そのとおりでございます。

◆西 委員 この要因としては、何が考えられますでしょうか。

◎河村 税政課長 本市の1人当たりの市税額が政令市平均を下回っているというふうな部分ですが、その要因を見ましたら本市の主要税目であります個人市民税・法人市民税・固定資産税のいずれにおきましても政令市中では低位でございます。ただ、特にその中で法人市民税でございますけれども、政令市18市中18位というふうなことになってございまして、法人の集積が他都市に比べて低いのではないかなというように考えられます。以上でございます。

◆西 委員 市民1人当たりの法人市民税が18都市中18位と聞いて、とても驚いています。法人の集積に向けて、積極的に取り組んでいただきたいと思っております。しかしながら、地理的事情等々からなかなか集積がしにくい状況は理解できるところであります。そういつて意味では、法人市民税ではなく個人市民税に相対的に依存しながら、つまりは歳出や債務を個人に依存しないといけない状況はそんなに変化はしないと私は考えております。人口減少社会において、人口が減ると市民1人当たりの起債残高はふえることになります。平成20年度末時点での市民1人当たりの起債残高は、幾らになりますでしょうか。

◎宮前 財政部次長 20年度末の市民1人当たりの起債残高でございますが、普通会計ベースで申し上げますと約33万円となっております。また、全会計ベースでございますが、72万6,000円となっております。以上でございます。

◆西 委員 全会計ベースで72万6,000円は、私としてはゼロ歳からお年寄りま

で72万円を超える債務を背負わされている現状は、相対的に政令指定都市と比較して少ないとはいえ、余り状況的にいいとは思えません、ほかの政令指定都市と普通会計ベースで比較するといかがか、お示しいただきたいと思います。

◎宮前 財政部次長 普通会計ベースでございますが、あくまでもこれは他市は速報値でございますが、18政令指定都市中2番目に少ない額となっております。なお、政令指定都市の平均は65万2,000円というふうになっております。以上でございます。

◆西 委員 1人当たりで政令指定都市の中で2番目に低いということですが、1人当たりの市税収入も全国で16番目の堺市ですから、2番目ということでももろ手を挙げて歓迎ができないような気もいたします。そういった意味では、まず、これ以上1人当たりの債務残高が余りふえないように、健全な財政状況をぜひとも維持していただきたいと考えておりますが、あわせてお願いをさせていただきたいんですが、ぜひとも2010年の財政収支見込みの中で1人当たりの債務残高の管理を入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎宮前 財政部次長 人口の、当然、増の要因というのは、この前の収支見込みでもお示しのとおり一応試算をした上で行っております。まだちょっと今現在検討状況でございますが、委員がおっしゃってる点についても検討してまいりたいというふうに考えております。よろしく申し上げます。

◆西 委員 よろしくお願いを申し上げます。また、人口による依存度が高いのですから、大綱質疑でも申し上げさせていただきましたように、コンクリートから人へが重要になってくると考えます。生活を第一にした市政による暮らしやすい市政、子育て支援が充実した市政をしっかりと行うことによって担税力のある世代を確保していく、人口の増加をしていく、さらにはそういった人口の流出を防いでいく、そのような取り組みが重要となると思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

さて、枠別配分予算について、次にお聞きをさせていただきたいと思います。予算編成に当たって事業部門にあらかじめ一定の予算枠を提示して、その範囲で予算要求が行われれば原則として財政部門による個別事務の査定は行わないとする枠別配分予算が全国各地で行われ始めていますが、堺市においても枠別配分予算が行われてると聞いていますけれども、いつから始まりましたでしょうか。

◎奈良 財政課長 枠別配分予算につきましては、平成20年度当初予算より実施をしております。以上です。

◆西 委員 梓別配分予算を始めた趣旨は何でしょうか。

◎奈良 財政課長 梓別配分予算を始めた趣旨でございますけども、梓別配分予算を実施することで市民や現場に近いそれぞれの局が創意工夫を凝らし、予算の編成から執行まで主体的に行うことでより効果的・効率的な予算編成や執行が可能になるものと考えております。以上でございます。

◆西 委員 配分の仕方は、幾つかの方法が全国では見られるようです。義務的経費を除いた経常的経費に対して枠を設定している事例や、これに部局ごとの政策的・投資的経費を加えて配分の対象としている事例もあると聞いています。配分はどのような基準で行われてますでしょうか。

◎奈良 財政課長 梓別配分経費につきましては、基本的に人件費・扶助費・公債費の義務的経費、それとルネサンス計画の登載事業・大規模事業・新規拡充事業などの経費を除きまして、一般財源ベースで配分しております。以上でございます。

◆西 委員 そうすると、平成21年度予算では幾らの梓別配分予算がありましたでしょうか。また、一般財源のうちどのぐらいの割合になりますでしょうか。

◎奈良 財政課長 平成21年度の梓別配分予算でございますけども、約223億円でございます。また、平成21年度予算の一般財源は約1,837億円となっておりますので、率にしますと12.1%ということになります。以上でございます。

◆西 委員 全国各地の事例を見てますと、義務的経費も対象に含めて総枠として配分をしたほうが自主性や自立性の確保、コスト意識の向上からいいということもたくさん事例が見られています。今後、堺としては梓別配分予算をどのようにしていこうとしているのかをお示してください。

◎奈良 財政課長 梓別配分予算は平成20年度に始めまして、まだ2年たったばかりでございます。今後、その問題点・課題などを検証した上で、来年度以降のあり方を検討してまいりたいと考えております。以上です。

◆西 委員 ぜひとも梓配分を拡大していくことを検討していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。この枠方式を進めることによって、部局への配分に当たって編成方針をしっかりと示すことにより、首長は直接的にみずからの意向を予算に反映するということができるかと各論文等々で言われております。また、この梓配分は予算

の推進・財政運営の均衡とともに同一の経営資源を用いて、より大きな効果・住民満足度を得られるような施策展開を行うという、午前中に申し上げたようなあれかこれか、あれもこれもではなくてあれかこれかをしっかりと選択をしていく、バリュー・フォー・マネーと言いますか、VFMの理念につながってくると考えますので、ぜひとも拡大をお願い申し上げまして、私の質問を終わります。